

富山県がん診療地域連携拠点病院（県指定）申請病院の現況

	富山労災病院	富山赤十字病院	富山市民病院	済生会高岡病院
1 診療体制				
(1) 診療機能				
①集学的治療等の提供体制及び標準的治療等の提供	◎	◎	◎	◎
②手術療法の提供体制	◎	◎	◎	◎
③放射線治療の提供体制	◎	◎	◎	◎
④薬物療法の提供体制	◎	◎	◎	◎
⑤緩和ケアの提供体制	◎	◎	◎	◎
⑥地域連携の推進体制	◎	◎	◎	◎
⑦セカンドオピニオンの提示体制	◎	◎	◎	◎
(2) 診療従事者	放射線治療に携わる専従の常勤医師が未配置 →非常勤医師 2 人 (週 2 回と週 1 回) を充てて対応 薬物療法に携わる専従の常勤医師が未配置 →専任の医師、兼任の医師等を配置し対応		放射線治療に携わる専従の常勤医師が未配置 →非常勤医師 (月 1 回) を充てて対応	
	緩和ケアチームで精神症状の緩和に携わる常勤医師が未配置 →非常勤医師 (週 1 回) を充てて対応		放射線治療に携わる専従の常勤医師が未配置 →非常勤医師 (週 3 回) を充てて対応	
①医師の配置 (要件が厳格化 (経過措置有))	○	○	○	○
②医師以外の診療従事者の配置	◎	◎	◎	◎
(3) 医療施設				
①治療機器および治療室等の設置	◎	◎	◎	◎
②敷地内禁煙等	◎	◎	◎	◎
2 情報の収集提供体制	院内がん登録の専従実務者 (国がんセンター研修中級認定) が未配置 →令和元年 11 月に中級研修を受講予定 (充足)		院内がん登録の専従実務者 (国がんセンター研修中級認定) が未配置 →現在在籍している中級認定者を専従にできるよう、がん登録部署の増員、業務内容を改善予定	
(1)がん相談支援センター	◎	◎	◎	◎
(2)院内がん登録 (要件が厳格化 (経過措置有))	○	◎	○	◎
(3)情報提供・普及啓発	◎	◎	◎	◎
3 医療に係る安全管理 (要件が厳格化)	医療安全推進室の専任の常勤薬剤師が未配置 →今後配置を検討 (委員会や、院内のラウンド等に関しては薬剤師が入り対応している)		医療安全推進室の専任の常勤薬剤師が未配置 →令和 2 年 4 月採用の薬剤師を充てる予定 (充足)	
4 診療実績 (努力規定)	別紙参照			

注) ◎は指定要件を充足、○は一部未充足

富山県がん診療地域連携拠点病院(県指定)申請病院の診療実績

医療圏	病院名	年間入院患者数の状況(H30)		院内がん登録(H30)	治療件数(手術件数)の集計(H30.1.1~H30.12.31)										がんに係る薬物療法	診療の割合	緩和ケア	相談支援センター	地域連携						
		年間新入院患者数(H30)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)		肺がん	胃がん		大腸がん			肝臓がん			乳がん						放射線治療(年間患者実数(H30))					
					悪性腫瘍手術総数	開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	腹腔鏡下手術	ESD+EMR	開腹手術	腹腔鏡下手術	開腹手術	腹腔鏡下手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	体外照射	密封小線源治療	核医学治療						
新川	富山労災病院	958	23.2	327	242	0	0	7	7	24	22	18	1	3	0	2	12	38	0	0	904	36.0%	67	135	3
富山	富山赤十字病院	1,589	14.3	864	644	0	37	18	14	38	40	53	9	4	1	0	35	109	0	0	1,229	12.0%	122	209	8
	富山市民病院	1,420	13.8	825	548	10	53	19	15	21	16	79	0	7	1	0	62	157	0	0	1,907	14.0%	313	401	3
高岡	済生会高岡病院	310	7.2	248	181	0	0	7	2	7	8	20	1	1	0	0	19	※0	0	0	526	6.0%	43	159	12
	合計	4,277		2,264	1,615	10	90	51	38	90	86	170	11	15	2	25	128	304	0	0	4,566		545	904	26

ESD:粘膜下層剥離術、EMR:粘膜切除術 ※放射線治療を休止

(参考)国指定6拠点病院の診療実績

区分	年間新入院患者数の状況(H29)	院内がん登録(H29)	悪性腫瘍手術総数	治療件数(手術件数)の集計(H29.1.1~H29.12.31)										がんに係る薬物療法	診療の割合	緩和ケア	相談支援センター	地域連携							
				肺がん	胃がん		大腸がん			肝臓がん			乳がん						放射線治療(年間患者実数(H29))						
				開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	腹腔鏡下手術	ESD+EMR	開腹手術	腹腔鏡下手術	開腹手術	腹腔鏡下手術	開腹手術	腹腔鏡下手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	体外照射	密封小線源治療	核医学治療						
1病院当たりの国基準診療実績		500件以上	400件以上	61	299	185	201	382	177	435	314	53	11	3	61	437	230人以上	200人以上	76	1,000人以上	2割程度	50人以上			
6病院合計	13,590	7,204	7,761	61	299	185	201	382	177	435	314	53	11	3	61	437	23	76	8,079	8,079		770	3,112	226	

富山県がん診療地域連携拠点病院としての取組み

病院名：富山労災病院

1 診療実績を増加させるための取組み

がん診療連携拠点病院等の整備指針の「Ⅱ地域がん診療連携拠点病院の指定要件について」に定める診療実績を充実させる取組みとして、診療体制では腫瘍内科を新設しがん患者に対する薬物療法の強化を図ることで入院、外来治療ともにより安全で適切な医療を提供できる体制を目指します。

また、婦人科医師1名の増員による2名体制により新川医療圏に居住する婦人科系のがん患者に対し積極的に手術が出来るようになりました。更に今後、女性専門外来を開始し子宮頸がんの検診等にも積極的に対応していく予定です。

くわえて、がんの早期発見・治療につなげるための啓発活動として市民公開講座を継続して開催していく予定です。

2 当院の特徴的な取組み

当院は、北陸唯一のアスベスト疾患センターを設置し、アスベスト被害で苦しむ患者の早期救済への政策医療としてアスベスト検診や相談業務を行っています。

また、消化器がんに対する腹腔鏡下手術を積極的に行っています。さらに前立腺がんに対しては、新川医療圏で唯一、腹腔鏡下前立腺摘出術を実施しています。

今後は、悪性中皮腫の治療として、腫瘍内科と連携し薬物療法を積極的に実施していき、前立腺がんに対して男性特有の腫瘍マーカーPSA検査を健康診断に取り入れ治療受け入れ体制を充実させていく計画です。

富山県がん診療地域連携拠点病院としての取組み

病院名：富山赤十字病院

1 診療実績を増加させるための取組み

放射線のべ患者数が例年 200 件に届かず件数が伸び悩んでいる状況だが、地域医療連携課を活用してかかりつけの診療所や他病院と連携をとりながら紹介患者を増やし、積極的ながん治療、放射線治療を行い 200 件に到達できるよう努めてまいります。

2 当院の特徴的な取組み

厚生労働省通知、がん診療連携拠点病院等の整備指針の「Ⅱ 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について」に定める診療体制については要件をみたしています。診療体制においては、安全で適切な医療の提供に加え、治療に関する医療相談、医療費や在宅療養に関する相談、がんに対する不安や悩みなどに専門の看護師が対応しております。2017年10月には患者支援センターを開設し、病院と地域の医院・診療所がお互いスムーズな連携を図ることができるよう地域連携を強化し、常に協力できる体制を整えております。また、血液悪性疾患の治療においては県内で1, 2位の実績であり今後更に充実させていきます。

当院の大きな特色は、緩和ケアであると考えております。地域の診療所との連携はもとより、付帯事業である訪問看護ステーションに看護師・作業療法士を配置し、患者本人や家族が安心して在宅で暮らせるよう24時間対応体制や在宅緩和ケアを行っています。また、緩和治療病棟を2017年3月に開設し、専門的視点で緩和する治療やケアを行ない、毎日を穏やかに過ごせるよう患者さんを支援しております。「緩和治療外来」「緩和ケアチーム」「緩和治療病棟」「在宅緩和ケア」の4本柱で緩和ケアを提供できる体制を整えていることが当院の特色であり強みであると考えております。

当院は、専従の放射線治療に携わる専従・常勤の医師の配置、薬物療法に携わる専従・常勤の医師は、配置できておらず専任の医師、兼任の医師等を配置し対応しております。また、医療安全部門において専任の薬剤師も配置できておりません。こういった不足している部分を満たすことができるよう具体的な案を今後検討していきたいと考えております。このうち放射線治療医師の配置については、実現には大学医局の理解、協力を得るための交渉が必要なため時間を要しますが、医療安全部門の専任の薬剤師の配置については来年度までに配置できるよう検討していきたい次第であります。早急に対応できるものから院内で検討していき、がん診療地域連携拠点病院の要件を満たせるよう努めてまいります。

富山県がん診療地域連携拠点病院としての取組み

病院名： 富山市立富山市民病院

1 診療実績を増加させるための取組み

平成 28 年から最新かつ高性能の IMRT（強度変調放射線治療）専用放射線治療装置を導入しました。今まで当院では治療できなかった部位への効果の高い治療が可能となり、さらなる患者数の増加や副作用やリスクの少ない安全で高度な治療を提供できます。

県内有数の化学療法件数に対応するため外来治療室を拡充し専門スタッフを充実させるとともに、化学療法部会を毎月開催し、レジメン登録審査だけでなく安全でレベルの高い化学療法をめざして多職種スタッフで検討しています。

県内のがん診療連携拠点病院に先駆けて開設した緩和ケア病棟では専門医、専門スタッフを充実させており、患者さんに優しい質の高い緩和医療を提供できる体制を整えています。

外科医の増員による消化器がん手術件数の増加が見込め、外科のがん診療体制も大きく改善しており、これまで以上に高難度のがん手術を行っています。

緩和ケア医や病理医、その他多職種が参加するキャンサーボードや地域連携症例検討会などを通じ紹介していただいた地域の先生方へ当院の治療経験などについてフィードバックし、がん患者さんをより多く紹介していただけるよう努めています。

がん相談支援センター内に「がんなんでも相談室」を 1 階フロアに開設しており、当院に受診されている方やそのご家族などどなたでも相談に応じ、とかく敷居が高くなりがちな診療の敷居を低くして診療に関する相談やセカンドオピニオン、医療福祉に関する相談などを受けています。

2 当院の特徴的な取組み

当院は、地域がん診療病院としての要件を満たすとともに地域がん診療連携拠点病院の指定要件もほとんどを満たしています。診療実績の内訳では、院内がん登録数、悪性腫瘍の手術件数、がんに係る化学療法延べ患者数、緩和ケアチームの新規介入患者数においては地域がん診療連携拠点病院の要件を満たしています。

地域内のがん拠点病院に先駆けて緩和ケア病棟を開設し、現在緩和ケアチームの新規介入患者数では県内で最も多い実績があります。

手術部門の増築工事をすすめており、令和二年度中に完成予定です。今後ますます増加するがんの内視鏡手術など高度な手術を安全にできるように対応していきます。

現在がん薬物療法暫定指導医が 1 名在籍しており、緩和ケア医や病理医、その他多職種が参加するキャンサーボードや地域連携症例検討会などを通じてがん薬物療法専門医の育成に努めています。

富山県がん診療地域連携拠点病院としての取組み

病院名：富山県済生会高岡病院

1 診療実績を増加させるための取組み

これまで、消化器内科医を2名増員したことにより、消化器内科の患者増につながっているほか、大腸肛門病専門医、乳腺専門医、早期胃がんに対する内視鏡剥離術ができる消化器内視鏡専門医、肝臓専門医、放射線科（読影）医等、専門的技術を持った医師を増員したことにより、癌患者の発見も多くなり、手術件数（内視鏡手術等）、化学療法件数が増加してきています。

また、地域連携室の機能を強化し、高岡医療圏内の医療機関に限らず、近隣市町村の診療所や大学と連携を深め、紹介・逆紹介患者の増加の務めたことによりがん患者の紹介の増加につながっています。

今後、緩和的放射線治療を含めた集学的治療に取り組むため、早急に放射線治療用機器の更新に向けた準備を進めるとともに、大学医局に対して、放射線（治療）専門医の派遣を要請しています。

2 当院の特徴的な取組み

当院ではこれまで、在宅緩和ケアに注力していた経験を生かし、がんの早期発見から治療、在宅緩和ケアまで一貫してチーム医療を実践しています。また、PT・OT・ST といったリハビリテーションスタッフが豊富な当院の特徴を生かし、必要な患者に十分ながん患者リハビリテーションを提供しています。

緩和ケアについては、本年4月に緩和ケアに精通した精神科医を増員し、薬剤師、看護師、栄養士、MSW等の多職種によるチーム医療を強化しています。また、摂食嚥下外来、精神科リエゾン外来を開設し、緩和ケアの質の向上に努めています。

在宅療養者に対しては、平成30年4月に開設した当院併設の訪問看護ステーションと連携して、在宅療養中のがん患者が急変等した場合には当院の医師も患者宅を訪問するなどの24時間対応を行い、必要な場合には在宅での看取りも行い、患者さん・ご家族に安心感を与え、信頼を得ています。

さらに、退院時における合同カンファレンスや在宅緩和ケア・地域連携パスの活用による病診連携・薬薬連携、年12回の症例検討会開催等により地域の医療介護関係者との連携強化に努めています。（71診療所と連携）

また、イオンモール高岡や高岡市との包括協定に基づき、地域住民を対象としたがんに関する市民公開講座等を開催し、住民のがんに関する知識・予防の啓発に強めてまいります。